

## 麻しん風しんウイルスの行政検査に検体を 提供された方へ

当所では、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により実施される感染症発生動向調査事業に基づく行政検査として、病原微生物および原因物質の検査および解析を行っており、提供された検体の検査結果は医療機関や各福祉保健センターを通じてお返ししております。

麻しん風しんウイルスの行政検査の検体について、麻しん風しんウイルスが陰性であった検体についてもその他ウイルスの検索を行い病原ウイルスを特定し、公衆衛生対策に役立てるため、下記に示す研究課題に使用させていただく場合があります。収集された臨床検体およびその情報を研究に用いる際は当所倫理審査委員会の承認を受けて行い、研究成果を専門誌等に公表する場合には氏名や住所などの個人を特定できる情報を削除して匿名化し、個人情報保護に十分配慮して使用いたします。そのため、研究成果の発表により個人が特定されることはありません。

提供戴いた検体が麻しん風しん検査以外の研究等に利用される事を好まれない方は、提供者はその使用をいつでも拒否することができます。また使用を拒否することにより、不利益を被ることは一切ありません。本研究課題への検体利用を拒否したい場合には、下記の横浜市衛生研究所 検査研究課 ウイルス担当までご連絡下さい。使用拒否の申し出により研究対象者から除外し、研究のための検体使用を中止します。ただし、拒否を表明した時点で研究結果が既に公表済みの場合には、ご希望に添えないことがありますので、ご了承ください。

### ■お問い合わせ先

横浜市衛生研究所 検査研究課 ウイルス・医動物担当

E-mail: ir-eiken@city.yokohama.lg.jp

Tel: 045-370-9356

## 人を対象とした生命科学・医学研究に関する倫理審査の対象となる調査研究

調査研究課題	麻疹及び風疹疑い検体からのウイルス検出
研究責任者氏名	浅見優希 (検査研究課 ウイルス・医動物担当)
研究期間 (検体採取期間)	2024年4月1日から2027年3月31日まで (同上)
調査研究の目的	麻疹または風疹が疑われる発疹性の症例において、麻疹ウイルス及び風疹ウイルスが陰性の検体中の病原体の探索を行う。同定された病原体の情報を患者情報とともにまとめ、麻疹及び風疹類似疾患の診断の一助とする。
調査研究に用いる試料および情報	感染症発生動向調査事業により麻疹または風疹疑いとして搬入された臨床検体、および付随する情報のうち検体提供者の年齢、性別、区市町村等の住所、臨床症状、ワクチン接種歴、発症年月日、検体採取年月日、診断年月日、発生および感染の状況、転帰。